

プラス記事 3%減、ニュートラル・マイナス記事 22%減

日産・ルノー・三菱自がそろって浮上 「人」コラム・決算好調企業がランクイン

2月度のプラス評価は76億4764万円、ニュートラル・マイナス評価は46億5685万円だった。前月と比較するとプラス換算値は3%減、ニュートラル・マイナスは22%減だった。2月は大型の人物コラムにトップや社員が取りあげられて「人」の換算値が伸びた企業が多数ランクインした。そのほか、事業提携報道や好調な決算が報じられた企業の順位上昇が目立った。

1位JR東日本は3カ月連続で換算値2億円を突破した。朝日の連載「各駅停話」が合計で3820万円の換算値となったほか、深沢祐二社長が15日の記者会見で表明した羽田空港アクセス線の環境影響評価の手続き開始も注目された。朝日は16日一面で建設計画を大きく報じたほか、26日の総合面で事業の概要や背景を解説した。2月は9位にJR九州、11位にJR西日本と、グループ3社がランクインした。

3位日産自動車、4位ルノー、19位三菱自動車工業は、カルロス・ゴーン氏退任後の経営体制に焦点

を当てた記事が増加し、2018年11月の同氏逮捕以降初めて3社そろって20位以内に浮上した。ルノーの新会長に就任したジャンドミニク・スナール氏の初来日、それに伴う3社連合のトップ会談の動きが月初から報道され、3社の「提携・合併」の換算値はそれぞれ日産が47%、ルノーが60%、三菱自動車が61%となった。

10位ソニーは、社員の竹野祐輔氏が登場した読売「私のエントリーシート」の換算値が最も高かったが、2期連続の最高益となった2019年3月期決算も取りあげられて「経営」の換算値が27%を占めた。日経は「ゲームや音楽などコンテンツ事業の拡大で現金を稼ぐ力が高まっている」とし、「ソニーの総合力が発揮されている」と解説した。

ほか決算関連では、15位グーグル(米)の2018年10-12月期の売上高が過去最高を更新したことや、18位アマゾン・ドット・コム(米)の同期決算での3四半期連続となる最高益計上も注目された。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	JR東日本	268,727	朝日「各駅停話」で南武線を紹介。羽田空港アクセス線の環境影響評価へ。
2	トヨタ自動車	260,186	朝日のコラム「平成とは」で「奔流TOYOTA」を連載。車の定額利用サービス開始。
3	日産自動車	130,481	ルノー・三菱自動車とのトップ会合で合議制を確認。「提携・合併」47%。
4	ルノー	127,766	ジャンドミニク・スナール会長が来日、日産・三菱自との連携強化を確認。
5	ツイッター(米)	122,886	日経で政府の不適切統計問題に関するツイッター分析を紹介。
6	三井住友海上火災	114,083	日経「未来面」に原典之社長が2回登場。「販売」48%、「社長・会長」46%。
7	パナソニック	104,319	毎日「ストーリー」にラグビーの福岡堅樹選手が登場。「人」69%。
8	新日鉄住金	87,188	日本商工会議所会頭の三村明夫名誉会長の続投が決定。「役員」45%。
9	JR九州	85,870	日経「My Story」に唐池恒二会長が登場。「社長・会長」82%。
10	ソニー	85,162	読売「私のエントリーシート」に社員の竹野祐輔氏が登場。「社員」50%。
11	JR西日本	82,207	朝日「てんでんこ」で計画運休の経緯を紹介。ほか鳥取駅の構内掲示など。
12	損保ジャパン日本興亜	82,198	毎日「はたらく」に三宅信一郎執行役員が2回登場。「役員」31%。
13	東レ	78,181	日経「未来面」に日覚昭広社長が登場。ほか電気自動車用の新素材など。
14	ホンダ	73,011	読売「@CARS」で3代目「インサイト」を紹介。「商品」40%、「販売」17%。
15	グーグル(米)	72,869	日産陣営と自動運転技術で提携すると日経・朝日が報道。「技術」38%。
16	塩野義製薬	71,881	読売「LEADERS」に手代木功社長が登場。「社長・会長」78%。
17	NTTドコモ	70,479	日経の次世代通信規格特集で「5Gデモバス」を紹介。「技術」29%、「社員」19%。
18	アマゾン・ドット・コム(米)	66,660	2018年10-12月期決算で3四半期連続の最高益。「経営」48%、「販売」22%。
19	三菱自動車工業	65,702	日産・ルノーとの3社トップ会談を開催。「提携・合併」61%、「社長・会長」23%。
20	明治安田生命	60,995	朝日「なるほどマネー」に山本英生シニアFPコンサルタントが寄稿。「社員」78%。